

平成30年11月

## 橋本市教育委員会定例会会議録

平成30年11月30日

## 教育委員会定例会会議録

開催日時 平成30年11月30日(金) 午前9時～

開催場所 教育文化会館 4階 第7展示室

出席委員 教育長職務代理者 米田 恵一  
委員 田中 敬子 中尾 悦子 吉田 元信  
教育長 小林 俊治

出席職員 教育部長 曾和 信介 教育総務課長 北岡 慶久  
学校教育課長 中尾 充雄 生涯学習課長 大西 基夫  
教育相談センター長 林 民和 図書館長 井澤 清  
教育総務課長補佐 萱野 健治 教育総務課企画総務係長 岩坪 康夫

### 1 開式

### 2 前回会議録の承認について

### 3 会議録署名委員の指名について

### 4 報告事項

報告第1号 教育状況について

### 5 付議事項

議案第1号 橋本市生徒指導上の諸問題対策専門委員会委員の委嘱及び任命について

### 6 その他

## 会議の概要

開会 午前9時00分

教育総務課長

これより教育委員会11月の定例会を始めたいと思います。  
まず初めに、前回の会議録の承認について、中尾委員お願いします。

中尾委員

内容は正確に記載されていたのですが、今までそのほか記載されてなかったの  
で、そのほか記載して欲しいという提案がありました。

吉田委員

先月、郷土資料館についてかなり議論されたと思うんですね。私はあえて協議  
事項の中より時間をたっぷりとれた方が良くかなと思って、その他でやらせても  
らったのですが、ところが定例会の会議録を見たら郷土資料館としか書かれてな  
かったの、何を議論されたのかすら残されない、これは定例会の議事録として  
意味を成していないだろうと。その他での議論は、議事録には書かれないのであ  
れば、その他では議論できないことになりますよね。その辺り、私の認識が足り  
なかったのか、議事録として、残すことに意味があるので、あれでは何の意味も  
成さないと思うんですね。その他の項目は何もないんだということであれば、  
協議事項で改めて取り上げてもらいたいと思います。

教育長

基本的にその他というのは、個人的な情報も含めてありましたので、一括して  
議事録に残さない、オフレコで話すことが多くあったのですが、その中でもオ  
フレコでないものもありますので、そこの精査は難しいのではないかとしてい  
ます。

米田委員

ついでと言っては申し訳ないんですけども、市議会の方も我々の討議の内容を見  
てくれてますね。気にしてくれている方もおります。あんまり期待もしてないの  
で、議事録そのものもそんなにしっかりと目を通しては訳じゃないんだけど、  
当局の都合の良いようにふるいにかけられている。これはつくづく感じる。今度か  
ら我々の意図している内容までも書いてもらいたいなど。逆にそうじゃなけれ  
ば、その都度その都度ここ抜けてますよ、ここ抜けてますと逆に言うていこうと  
思ってます。市議会の連中も我々のことを気にかけてくれているのであれば。こ  
の会議そのものに凄く期待もされていらっしゃるということで。変なふるいにか  
けられているのは凄く感じるところがある。これは私だけの意見かもしれませんが  
けども。こと自分の意見については、自分の意図してるところとちゃうなという  
ところがあれば全部言っていきたいと思います。

吉田委員

その他の扱いをどうするかは、きちっと決めといていただいた方が良くと思  
います。私の認識不足であったなら、改めて郷土資料館については協議事項でやら  
させてもらいます。でないと、記録する意味がなくなってしまうのでね。記録し  
て、議論した、次回はその議論を踏まえて、また次ということになっていくと思  
いますので、話しっぱなしでは意味がないと思います。

教育長

過程からいいますと、3年前くらいまでは議事録という形ではなく、箇条書きで入れ込んでたんですが、これではあかんという事で、議事録を残そうということで、ここ何年かで会話も入れ込んだ議事録を作成するようにしてきました。

その他の部分は、本来言えば、協議の中で話すことができないプライベートも含めた内容が話されておったのですが、徐々にその他の部分の、吉田委員が言われたとおり、大事なところも含めてますので、やはり協議事項とその他は分けた方が良く思っています。郷土資料館については、新たに提案をいただいて、次回の協議事項に入れ込む、そういう形で記載していくのが正しいのかなと思っています。

それと、米田委員が言われた部分で、都合の良いように、という部分があるのですが、自分たちとしては、都合の良いように記載しているつもりはないのですが、そう映っているのであれば今後配慮していかんなんし、ただ、文言の中で、ここはオフレコにしてくださいと僕が言うこともあります。それはオフレコにしてもらわないと議事が前に進みませんので、個人が、これはオフレコですよと言う部分は、先に言っていただいて記載しない、というのが正しいのとちゃうかと思っています。その他については記載しないので、議事でやろうよ、と言うところはもう1度提案していただいて、議事に載せていけたらと思っています。

その他は、別に本格的な議論を要する内容ではない、又は個人のプライベートに係る内容のものはその他で言ってもらえたらと思います。

吉田委員

改めて来月定例会で郷土資料館の話をやりましょうか。でないと記録して残らないと意味を成さないの。

教育長

僕の提案で良ければ、次回やらせていただきます。

教育総務課長

よろしいですか。教育長の提案も含めてですが、教育総務課で議事録を作成しておりますので、改めて、報告事項、付議事項、その他の扱いについて、もう1度交通整理をして、議事録に残らないのであれば、という扱いについても整理させていただいて、次回の前日会で提案させていただきます。

それを踏まえて、10月の定例会の議事録について、もう1度精査させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

教育総務課長

本日の会議録の署名委員は、吉田委員よろしくをお願いします。

教育総務課長

それでは報告事項に入らせて頂きます。報告第1号教育状況について、教育長よろしくをお願いします。

教育長

それでは、最近の教育状況について報告します。

まず、11月19日(月)から20日(火)にかけての県市町村教育委員会研修会へのご出席ありがとうございました。今年度は、ICT教育、特にプログラミング教育についての講演・説明・実践報告でした。モデル校として、プログラミン

グ教育に取り組んでいる、あやの台小学校の今田校長先生からの報告がありました。このことにつきまして、ご意見・ご感想がありましたら後ほどよろしく願いします。

さて、前回の定例会から本日にかけて、様々な行事が行われました。まず、11月3日（土）に市民総合文化祭開会セレモニーが行われました。それに、先だって文化顕彰式が行われ音楽家のウインズ平坂さんが受賞されました。委員の皆様にはご出席ありがとうございました。11月4日に紀見北地区でのふるさと展望、西部地区での「ふれあって西部」が開催され、多くの方々の参加がありました。11月17日（土）から18日（日）に「橋本市科学ワクワクウェブ実行委員会」主催の「科学・算数を楽しむ一日」も開催され、科学や算数・数学に関する30のブースが設置され盛大に行われました。11月18日（日）には、学文路地区公民館文化祭の開催、そして、未来議会も開催されました。未来議会では、市内の公立・私立7校の中学生15名が、3つのグループに分かれての一般質問ときのかわ支援学校の生徒の発表がありました。市長、各部長も出席して行われ、子どもたちの提言に対する市政への反映、市政への参加意識の高揚、議会が身近な存在であるという意識付けも含め、値打ちのある取り組みであると思いますので、今回の反省点を生かして、同様の時期に継続して取り組んでいきたいと考えます。

学校行事として、11月17日・18日伊都地方総合文化祭が行われ、幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの力作が展示されました。

文化祭の一環として11月8日には、伊都地方英語発表会、11月15日には伊都地方音楽祭が行われました。どの発表会も熱のこもった発表であったと思います。特に伊都地方音楽祭は、多数の保護者も来場し、熱気あふれる中で盛大に行われました。

また、11月25日（日）は、「学びの日」を開催しました。多数の来場者で多いにぎわい、それぞれのブースが活気と笑顔にあふれ、楽しい時間を過ごして頂いたと思います。

最後に、12月18日（火）に総合教育会議を予定しています。教育大綱の見直しについて、現状を踏まえ、協議していただきます。よろしくお願い申し上げます、教育状況の説明とさせていただきます。

教育総務課長

皆さん方から感想、ご意見等ないでしょうか。

田中委員

2点、すいません。教育長のお話聞かせていただいて、色んな子どものイベントがあつて、大人も子どもにも良い機会であったなと思います。未来議会のことですが、選挙権も18歳になって子どもたちに近くなっているので、そういったことを身近に感じる、自分の声が反映するというのは良いことだと思います。参加した子どもたちだけではなく、同じ中学生の子どもたちにそういう意識が芽生えるきっかけができればと思います。

それと、研修の方、参加させていただいて、あやの台小学校で、きのくにICT教育モデル校という取り組みをしているということで、向こうで聞かせていただい

て、わかりやすいお話でした。

しかし、近くにいながら学校訪問に行っておりません。こういったお話があるのであれば、身近に生徒たちの活動を私たちも見せてもらうのが任務かなと思っています。

学校教育課長            はい、申し訳ございません。また周知させていただいて、学校訪問していただけるようにしていきます。

米田委員                きのくに I C T 教育モデル校の中に、県の 2 つの中にあやの台小学校が入ったというのは、これはこちらから I C T 教育モデル校に選んでよ、とあやの台小学校を県に提案した中で、セレクションされて残ったということですか。

教育長                    あのと時講演していただいた和歌山大学大学院の豊田先生とあやの台の今田先生は元々繋がりがありまして、一緒に I C T やろうよということで、元々そんな話がありました。豊田先生が県の中心になってますので、推薦として今田校長先生のおられるあやの台にモデル校を持っていきたいという形で、豊田先生から県に推薦があつて、教育委員会にその話があつて、教育委員会からあやの台にやってみますかと聞かせてもらいました。あやの台はやりたかったんでということで、嫌々ではなくて、校長先生が自主的にやりたい、職員をチームとして一緒にやろうよという声かけから学校全体でやろうという形に変わっていった。で、今研究を進めていただいているというところです。

米田委員                個人的な付き合いがきっかけということですか。

教育総務課長            研究をお互いに、プログラミングをしていたということになります。

米田委員                なんかしっくりとこないですね。

教育長                    手をあげたという訳ではない。プログラミング教育をするということが、そのときはまだ県の正式決定ではなくて、内諾がないと決定ができませんので。そこが難しいんですが。

米田委員                他の橋本市の学校には 1 回は流されている訳ですね。 I C T 教育モデル校のチャンスがあるよと。同じ条件の元で、ということで良いですよ。

教育長                    そうではないです。

米田委員                一本釣りですか。

教育長                    一本釣りです。

米田委員 生徒がそれによって損とか得、言葉が合ってるかわかりませんが、なんか損とか得をしてる気がします。

教育長 ICT教育というのは、基本はインターネットに親しむということと、プログラミング的発想を持つということやと思うんです。小学校においては、プログラミング教育は指導要領においては中学校なんです。小学校は、インターネットに触れる機会を多くする、それからプログラミング的発想・思考を持たせる、これというのは各小学校で既に取り組んでいることなんですけども、そこにあやの台がもう1歩ステップアップしたのは、プログラミングを使っていわゆるロボットの操作を入れ込んだということです。土壌としては既に市内で取り組まれています。確かに全体的にやれていないというのはそうなんですけど、研究校というのはそんな感じで決まるんです。

米田委員 それが普通のやり方なんですか。教育界では。

教育長 モデル校というのはそんな形で決まるんです。

田中委員 きっと、上手くスムーズに行くために、理解できる人のところに行ってるんだと思います。良いもの、仕上がったものがみんなのところに行くのかな、と。学校によって落ち着きあるないがあると思うのですが、大変なときにこういうのを持ってこられると子どもたちが混乱するかもしれないので、まとまったものが下りてきたら良いのかなと思います。米田さんがおっしゃることもわかりますが。

教育長 急にプログラミング教育を全部やれというのは、財政的に県も予算取りが出来ません。予算も環境も整っていないところで全部にやると拒否反応が現場から出てきます。いったん種をどこかに植えて広げていくのがやり方です。その中で課題を見つけて、例えばロボットの台数が足りませんとなると、県が来年に向けて予算取りに動く。経済界でも一発でボンとせんと、色んな調査すると思うんです。それと同じで県も一定の調査をして、これはいけるな、となればやると。

米田委員 あやの台小学校は他の学校に比べてある程度レベルが上の方に達しているからそこに持っていったんだと。

学校教育課長 たまたま今田校長先生があやの台小学校だったからだと思います。今田先生はICTに熱心な先生ですので、多少は先進的な取り組みをされていたとは思いますが、あやの台小学校だけが橋本市の中で凄く進んでいる訳ではありません。モニターみたいなものだとご理解ください。本格的には来年からどの学校でもやるので、そのための準備の1年ですから、来年から損得があつたらあかん、とそんな風に捉えて下さい。

中尾委員 私も講演を聞かせてもらって、今でも忙しい学校の先生がこれから大変だろう

な、と。今田先生だから興味を持ってやって行ってるものの、他の学校になったらとても大変なことじゃないかなと感じて帰ってきました。

ついでに未来議会で感じたことですが、答弁が通り一遍で面白くなかったと言いますか、心の通った答弁を聞きたかったと思いました。なんか型にはまっただけであまり良い答弁を聞かせてもらったとは思わなかったです。その点、生徒たちは自分たちの考えたことを言えてましたし、支援学校の生徒たちも本当に素晴らしい活動をしているとみんなに聞いて欲しいと思ったし、そのことについても市長なりに広がりを見せるような答弁というか感想を言ってもらいたかったです。

教育総務課長

米田委員からモデル校が選ばれた過程の質問がありましたが、通常は国や県が募集する事業は、市町村に公平に声がかかってきます。それぞれの自治体で、上手くいくパターンだけでなく、上手くいかないであろう自治体にもモデル的に依頼してくるのが通常だと思います。手をあげなかったら県からぜひやってもらえませんか、というようなこともあって、本来やられるんじゃないかと思います。米田委員の質問の中で、どうやって決めたんやろうというところについては、教育長の説明でわかったんですが、子どもたちにとって公平なんかどうかというところがあります。ただ、今回は失敗が許されないモデルであったからあやの台小学校が選ばれたのかなと自分の中では整理しています。

中尾委員

不得意な学校がモデル校に選ばれた場合は、その子どもたちにとってどうかなと。

米田委員

良いも悪いも発表したら良いんです。個人の経営している学校なら色々あるのはわかる。でも。市立の公立だから合点がいかなかったんですよ。

教育長

プログラミング教育は、文科省は2020年からやろうとしています、和歌山県は2019年、来年からやらないといけないんです。3年ぐらいかけてやれるなら北岡課長が言うように全体的にできるんですが、今回については1年で課題と成果を出さないといけなかったという中で、今までより鋭角的に研究を進めたんだと思います。

あの中で今田先生が一番最初に言ったのは、チームができるかどうか、これ、中尾委員言われたように、すべての各学校に下ろしたときに、こらえてよという学校もかなりあるんやろなど。英語の授業数も増えてきてる、そこにプログラミングをやっていけど。一方で教職員の多忙化、超過勤務も言われている中で、材料は増えてきているが、休める時間が少なくなっている。そこをどう上手くやっていくかは、今後大きな課題だと思っています。

吉田委員

I C Tの技術を導入していくことに政府はかなり一生懸命になっている。例えばスマート農業というのがありますが、注意すべきことはI C Tのメリットとデメリットがあるんですね。I C Tの良いところは双方向教育です。教える側と教えられる側が一对一できっちと対話できることです。農業でもI C Tがありますが、これ

はかなりシステム化された農業だけの話で、路地ではほとんど適用されないんですね。同じことで、教育の現場でICTを導入した場合、すべてが良いかと言うそうではない。きちっと精査していかないと結構危険だと思います。

政府が中心になってどんどんやろうとしている。対比として農業の話はしますが、農業の分野でも危険なことは結構ある。かなり良くわかってないと、何もかもすべて良いよという訳ではない。

特に日本の場合は情報の部分はかなり遅れつつあります。バイテクの分野でもかなり遅れつつあります。ICT教育を進めていくのは凄く大事なんですけど、良いところと悪いところをきちんと精査できることが必要なことかなと思います。導入関係については結構難しいところがありますけれども、どこかがとっかかりであれば、やりますというところがないと入っていけないと思います。

教育総務課長

よろしいですか。報告事項については以上とさせていただきます。  
では、議事に入らせてもらいます。教育長お願いします。

教育長

議案第1号 橋本市生徒指導上の諸問題対策専門委員会委員の委嘱及び任命について を議題とします。

学校教育課長

資料をご覧ください。平成30年度の委員の委嘱と任命をお願いしたいと思えます。元々は不登校問題対策専門委員会だったものを、大津のいじめ問題、それに伴う法律の施行があり、橋本市としてもいじめの未然防止対策委員会を設置する意味合いも持たせ、不登校だけではなく生徒指導上の諸問題全般についての対策専門委員会として、平成26年度からスタートさせている会です。

本来、平成30年6月1日から3期目がスタートするはずだったのですが、作業が遅れまして、今になったことは申し訳なく思いますが、別紙にある方々の委嘱と任命をご承認いただけますようよろしくお願いします。

教育長

説明終わりました。ご意見ご質問ございますか。

米田委員

共有コミュニティのボスみたいな方が入っていても良いんじゃないかと思えますが。

学校教育課長

それも一つの考え方だと思うので、検討していきたいと思えます。

教育長

他にございませんか。

教育長

ご異議ございませんか。

教育長

ないようですので、原案のとおり決することとします。

教育総務課長

それでは、次回12月の日程について確認します。前日会は12月18日（火）の

9時から、定例会は12月25日（火）の9時からになります。  
他に特になければ、11月定例会を終了したいと思います。

（午前10時23分）

署 名 委 員